

川崎市生田緑地の真正蜘蛛類追録

伴 満*1・木下 あけみ*2・クモ班*3

Addition Lists of the Spiders Occurring in the
Ikuta-Ryokuchi Park, Kawasaki City

Mitsuru BAN, Akemi KINOSHITA and Spiders Researcher Group

I はじめに

川崎市青少年科学館では第3次自然環境調査で生田緑地内の真正蜘蛛類（以下クモ）調査を行った（熊田ほか1994）が、その際の記載漏れの種及びその後発見した種を前表に追加する。

又、標本同定についてはその殆どを池田博明氏に、フクログモの一部とコモリグモの一部を谷川明男氏、サラグモの一部を田副幸子氏にお願いしたので感謝申し上げます。

標本についてはそのほとんどを伴の手元に保管してあるが、一部は科学館に保管してある。

II 採集及び同定

採集はクモ班、及び伴が1992年10月～95年7月に行った。

III 追加目録

和名	学名	性別	採集日
1. ガケジグモ科 AMAUROBIIDAE			
1 ヤマトガケジグモ	<i>Titanoeca albofasciata</i> STRAND	y	921029
2. ヒメグモ科 THERIDIIDAE			
2 キヒメグモ	<i>Achaearanea asiatica</i> (BÖS. et STR.)	m	940513
3 カレハヒメグモ	<i>Enoplognatha transversifoveata</i> (BÖS. et STR.)	F	950520
4 サトヒメグモ	<i>Theridion adamsoni</i> BERLAND	F	930703
3. サラグモ科 LINYPHIIDAE			
5 コサラグモ	<i>Aprifrontalia mascula</i> (KARSCH)	F	940602
6 テナガグモ	<i>Bathypantes orientis</i> OI	F	931116
7 マルサラグモの1種	<i>Centromerus</i> sp.	M	931117
8 ノコギリヒザグモ	<i>Erigone prominens</i> BÖS. et STR.	F	930421
9 ノコバヤセサラグモ	<i>Lepthyphantes serratus</i> OI	F	921215
10 ツノケシグモ	<i>Meioneta projecta</i> OI	F	930420
11 カマクラヌカグモ	<i>Walckenaeria kamakuraensis</i> (OI)	M	930406
4. コガネグモ科 ARANEIDAE			
12 ヤミイロオニグモ	<i>Araneus fuscocoloratus</i> (BÖS. et STR.)	f	930721
13 ヤエンオニグモ	<i>A. macacus</i> UYEMURA	F	921210
14 カラオニグモ	<i>A. viperifer</i> SCHENKEL	F	950512
15 ハラビロミドリオニグモ	<i>A. viridiventrifera</i> YAGINUMA	f	950512
16 ムツボシオニグモ	<i>Araniella yaginumai</i> YAGINUMA	y	930114
17 キジロゴミグモ	<i>Cyclosa laticauda</i> BÖS. et STR.	f	930424
18 シロオビトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne nagasakiensis</i> STRAND	F	940702
19 スズミグモ	<i>Cyrtophora moluccensis</i> (DOLESCHALL)	f	950705
20 ゲホウグモ	<i>Polys illepidus</i> C. KOCH	f	950520

*1 日本蜘蛛学会 *2 川崎市青少年科学館

*3 川崎市民自然環境調査団

5. アシナガグモ科 TETRAGNATHIDAE			
21	ヨツボシヒメアシナガグモ	<i>Dyschiriognatha quadrimaculata</i> Bös. et STR.	M 931119
6. タナグモ科 AGELENIDAE			
22	コナタグモ	<i>Cicurina japonica</i> (SIMON)	f 960209
7. コモリグモ科 LYCOSIDAE			
23	シッチコモリグモ	<i>Hygrolycosa umidicola</i> TANAKA	FM 930407
24	キクヅキコモリグモ	<i>Pardosa pseudoannulata</i> (Bös. et STR.)	F 930513
8. フクログモ科 CLUBIONIDAE			
25	カムラタンボグモ	<i>Agroeca kamurai</i> HAYASHI	M 940207
26	イナフクログモ	<i>Clubiona inaensis</i> HAYASHI	M 930519
27	クロサワフクログモ	<i>C. kurosawai</i> ONO	F 930421
28	トビイロフクログモ	<i>C. lena</i> Bös. et STR.	F 930512
9. ワシグモ科 GNAPHOSIDAE			
29	メキリグモ	<i>Gnaphosa kompirensis</i> Bös. et STR.	M 930424
30	クロチャケムリグモ	<i>Zelotes asiaticus</i> (Bös. et STR.)	F 950314
10. ハエトリグモ科 SALTICIDAE			
31	エクスハエトリ	<i>Laufeia aenea</i> SIMON	F 950526
32	ヒメカラスハエトリ	<i>Rhene</i> sp.	F 930513

(注) 性別の記号：M 雄の成体；F 雌の成体；m 雄の幼体；f 雌の幼体；y 幼体を表わす。
採集日921029は1992年10月29日を表わす。

IV 記録されたいくつかの種について

1. スズミグモ

本来は南方系の美しいクモだが年々北上の傾向にあると言われている。近年、麻生区王禅寺でも雌雄が発見される(大西,1995)等、これを裏付ける傾向にある。

2. ゲホウグモ

山地等で見られるが平野部で発見されるのは珍しい。体型は木の瘤に似て見つけにくく、又、種々の変形があることが1995年の日本蜘蛛学会で報告されている。

3. カムラタンボグモ

池田博明氏(私信)によれば、神奈川県では初記録の稀少種のクモである。一見ヒメフクログモに似ている。

4. シッチコモリグモ

昔は北海道にしかいないとされていたが、現在は神奈川県でも発見されている。しかし、数は少ない。

V まとめ

第3次調査で報告された種数は30科165種であったが、今回の2科(ガケジグモ科, ワシグモ科)32種の追加により32科197種になった。生田緑地のクモ相の基本的な特徴は熊田ほか(1994)で報告されているが、この追加によっても変わることはないと考えられる。

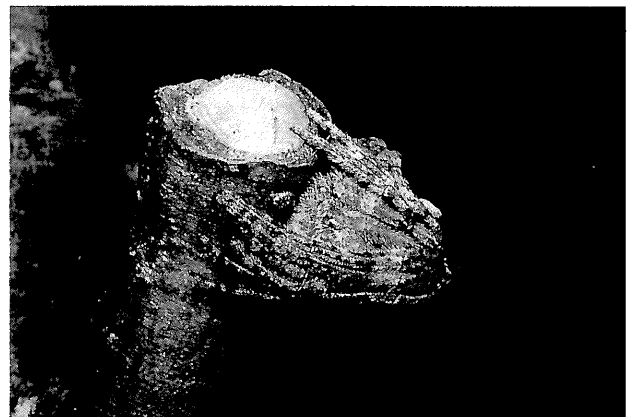


写真1 ゲホウグモ

参考文献

- ・千国安之輔(1989)写真・日本クモ類大図鑑。(偕成社)東京。
- ・熊田憲一・池田博明・谷川明男(1995)神奈川県産クモ類目録. *Kishidaia*(68):1-48. 東京蜘蛛談話会。
- ・熊田憲一・木下あけみ・クモ班(1994)川崎市生田緑地のクモ.川崎市自然環境調査報告Ⅲ.pp.167-176. (川崎市教育委員会)
- ・大西公一(1995)ようこそ・スズミグモ.どんぐりのあな(89):14-16.多摩丘陵野外博物館。

クモ班：成田和子, 荒金泰子, 藤沢寿美子, 渡辺 玲, 久保田克哉, 小林 浩, 水山栄子